

## 地域再生を担う人づくり支援事業に参加された方へ

### 地域再生を担う人づくり支援事業フォローアップ調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

これまで国土交通省都市・地域整備局地方振興課が実施しました地域再生を担う人づくり支援事業に関しては、「地域住民が主体的に地域づくりを考えるきっかけになった」「交流施策のビジネス化のヒントとなった」等の声を多く頂きました。

そこで、本年度は平成20年度・21年度に本事業を実施された地域の皆様に、現在の人づくり・地域づくりに関する状況のほか、本事業を振り返ってみての効果・成果等についてお伺いすることで、今後の地方振興に関するあり方等について明らかにしていきたいと考え、フォローアップ調査を実施することといたしました。

ご多忙のこととは存じますが、ご都合の良い時間にお伺いさせていただきますので、調査の趣旨のご理解を賜り、何卒、ヒアリングにご協力いただきますようお願い申し上げます。

ヒアリングでは、主に

①本事業実施目的・目標、進捗確認

②事業の取り組み手法・内容等の再確認

③今後の地域振興・地域再生を図る際に必要な条件、課題等の把握

といった、3点をお尋ねさせて頂く予定です。

なお、ヒアリング事項・日程等の詳細に関しましては、後日、本調査の委託先である(株)価値総合研究所より、ご連絡させていただきます。

また、当日のヒアリングをスムーズにさせて頂くためにも、同封いたしますアンケートにご記入の上、お手数ではございますが、11月2日(火)までに同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、E-mail でのご回答・ご返送を希望される方は、下記連絡先 (saisei@vmi.co.jp) までメールにてご連絡頂ければ、追ってアンケート調査票をお送りさせていただきますので、ご利用の際は、お申し付け下さい。

色々、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒宜しくようお願い申し上げます。

敬具

◆調査主体

国土交通省都市・地域整備局地方振興課 古澤・山本

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

電話：03-5253-8111 (内 32-452)

◆お問い合わせ先 (調査実施機関)

株式会社 価値総合研究所 パブリックコンサルティング事業部

〒108-0073 東京都港区三田3-4-10 リーラヒジリザカ7階

電話：03-3451-4378 FAX：03-5441-7661 E-mail：saisei@vmi.co.jp

担当：日高・中村



問2 本事業実施を通じて全体的に掲げた目的・狙い等は達成することができましたか。該当するもの一つに○を付けて下さい。

1. 全体的に達成できた
2. 概ね達成できた
3. 一部は達成できた
4. 全く達成できなかった

問2-1 問2の回答に至った理由等について具体的にご記入下さい。

例、目標は見え始めたが、課題解消ができる人がまだいないため等

⇒ヒアリングでは、上記の「達成度」についての考え方のほか、目的・狙いを達成するためにこれまで取り組んでこられた内容や今後取り組みたいと考えておられる内容等についてもお窺いさせていただきます。

問3 事業実施にあたり貴市町村で策定された「地域再生に向けた基本構想等」には、達成状況を評価する数値目標（指標）も計画されていますが、それらに照らして目標・指標をご記入頂き、達成状況等についてそれぞれ選択肢から番号を一つ選び○を付けて下さい。

＜数値目標（指標）の例・・事業実施前との比較ができるよう具体的にご記入下さい。＞

観光客数2割増（10,000人→12,000人）、宿泊客数100人増加（500人→600人）、

ツアー実施地区2地区整備（0地区→2地区）、土産物販売額3割増加（3,000万円→3,900万円）

人材育成プログラムに100名参加させる（0名→100名）など

数値目標（指標）	達成できた	概ね達成できた	あまり達成できていない		全く達成できていない	
			込みは ある 達成 できる 見	込みは ない 達成 できる 見	込みは ある 達成 できる 見	込みは ない 達成 できる 見
	1	2	3	4	5	6
	1	2	3	4	5	6
	1	2	3	4	5	6
	1	2	3	4	5	6
	1	2	3	4	5	6

⇒ヒアリングでは、達成・未達成の要因、目標達成に効果のあった取り組みの進め方や内容の詳細、今後の見込み等に至った理由等についてお窺いさせていただきます。

### 事業実施前後での地域の変化について

問4 地域再生を担う人づくり支援事業並びに地域振興・再生に関連した取り組みを実施するにあたり、(1) 当時、認識していた課題について、それぞれ該当する項目に○を付けて下さい。また、(2) 課題解決にあたり実施した内容について選択肢から該当する記号を全て選び記入して下さい。そして、(3) その実施によって当初の課題解決が図られたか(対応できたか)について、それぞれ1~4の番号に○をして下さい。

(1) 項目 (当初の課題)	(2) 実施した内容 (下表から選択記入・複数可)	(3) 課題解決 (ひとつだけ○)			
		対応できた	やや対応できなかった	あまり対応できなかった	まったく対応できなかった
A. リーダーシップを発揮できるような人材の不足		1	2	3	4
B. 今後の地域を担う若手世代の不足		1	2	3	4
C. 地域の活動を支える参加者の不足 (全体的なマンパワー不足)		1	2	3	4
D. 取り組みを実践する場所・機会の不足		1	2	3	4
E. 有用な外部有識者・組織等とのネットワーク		1	2	3	4
F. 取り組みの参考となるような他市町村等の事例等の情報の不足		1	2	3	4
G. 活動資金等の不足		1	2	3	4
H. その他 (具体的に: )		1	2	3	4

<実施した内容: 選択肢>

1. セミナー、講演会等を実施	7. メディア・広報誌等を通じた広報
2. ワークショップ等を実施	8. 有用な人材の採用・雇用
3. 外部コンサルタントの活用	9. 事業の試行(お試しいベント、モニター等)
4. 学識経験者の活用	10. 事例集・HP 情報等の活用
5. 優良事例地域等への視察	11. その他
6. 地域資源の見直し	(具体的に: )

⇒ヒアリングでは、実施した内容の詳細(回数・頻度)や、その内容を選択した理由のほか、実施した感想(内容の整合性)等についてお窺いさせていただきます。

問5 平成20年度又は平成21年度に実施した地域再生を担う人づくり支援事業並びに地域振興・再生に関連した取り組みの実施前後を比較して、地域に変化は見られましたか。以下のA～Fについて、それぞれ選択肢から番号を一つ選び○を付けて下さい。

	項目（地域の変化）	増加した	変化なし	減少した	わからない	該当しない
人口	A. 定住人口 （例、居住者・居住人口等）	1	2	3	4	5
	B. 交流人口 （例、観光、買い物客数等）	1	2	3	4	5
	C. 雇用者・従業者 （例、観光施設等の従業員・従業者等）	1	2	3	4	5
産業	D. 既存産業の展開 （例、生産加工ラインの増加・増床、既存商工会活動等）	1	2	3	4	5
	E. 新規産業・事業 （例、コミュニティビジネスの種類、創業・起業数等）	1	2	3	4	5
	F. 商品開発 （例、土産物の種類・ツーリズムメニューの種類等）	1	2	3	4	5
販売・流通	G. 商品取り扱い販売場所・機会 （例、販売場所数・販売イベント数等）	1	2	3	4	5
	H. 顧客・売上 （例、顧客数・売上高等）	1	2	3	4	5
	I. 所得水準 （例、従業員等の所得水準等）	1	2	3	4	5
情報・その他	J. 有益情報・ネットワーク等 （例、人脈・ネットワーク、有益な情報ストック等）	1	2	3	4	5
	K. 地域住民の理解・参加 （例、活動への参加者数等）	1	2	3	4	5
	L. 地域づくり団体等との連携 （例、NPO、協議会等の参加・連携団体数等）	1	2	3	4	5
	M. その他（具体的に：  ）	1	2	3	4	5

⇒ヒアリングでは、それぞれの項目について、詳細な内容（例、雇用の種類、人件費、商品開発の種類・量、販売戦略策定の過程・きっかけ、販売量・売上高、人脈の具体的な名前・知り合うようになったきっかけ、地域住民参画のきっかけとなった出来事・・・等）についてお聴きさせていただきます。

## 今後の取り組み・その他

問6 今後、貴市町村において地域振興・地域再生の取り組みを行うにあたり、重点的に取り組みたいと考える事柄についてお窺いします。以下、A～Gについて、それぞれ選択肢から番号を一つ選び○を付けて下さい。

項目（重点項目）	あ と も も 重 要 で あ る	重 要 で あ る	な い あ ま り 重 要 で あ る	重 要 で な い	わ か ら な い
A. これまでに得られた情報（地域資源・情報・有識者情報）等のデータベース構築	1	2	3	4	5
B. 同様の課題を掲げる市町村や課題解決を図っている市町村等との意見交換・ネットワークの構築	1	2	3	4	5
C. 次世代育成のために、知見・ノウハウを若手世代に引き継ぐような機会・場所の創出	1	2	3	4	5
D. 地域住民の取り組みに対する理解・参加を図るため、地域イベント等のOJT機会の創出	1	2	3	4	5
E. 県や国等による支援策の活用	1	2	3	4	5
F. 持続的な収益事業の確保 （具体的な内容をご記入下さい）。	1	2	3	4	5
E. その他（具体的に：  ）	1	2	3	4	5

⇒ヒアリングでは、それぞれの項目について、今後の取り組み予定、成功するための仕掛けの有無、重要又は重要でないと考える理由等をお窺いします。

問7 今後、支援が必要と考えられる人材育成策について、該当する項目全てに○を付けて下さい。

1. 現在主体的に活動している人のレベルアップを目指したもの
2. これまで地域振興・地域再生等の取り組み活動をしていない人を対象としたもの
3. 資金調達等の特定分野のスペシャリストの育成を目指したもの
4. 多岐に渡る課題に対応可能なゼネラリストの育成を目指したもの
5. 地域づくり活動の参考となるようなHP等を活用した他市町村事例等の情報提供
6. 圏域等に拘らず課題解決を図れるような他市町村との連携ネットワークの構築
7. その他（具体的に：

）

⇒ヒアリングでは、人材育成策の内容・手法（講座・研修方式、人材派遣方式等）、必要な情報の内容等について、お窺いします。

問8 地域再生・地域振興に関係する多くの市町村、まちづくり団体、NPO、大学、ファンドレイジング機関等が連携（ネットワーク化）の必要性についてお窺いします。貴市町村のお考えについて以下の項目のうち、該当するもの一つに○を付けて下さい。

1. 上記の組織間で新たにネットワークが構築された場合、参加したい
2. 既に既存のネットワークに参加している（既に必要だと考える組織等とは連携している）ため、必要ない
3. 特に必要性を感じない
4. その他（具体的に：

）

⇒ヒアリングでは、貴市町村が地域振興・再生の取り組みを実施している上で、よく関係する組織・機関や、その組織・機関との係り（例、人材育成メニューを活用している）のほか、そうした組織・機関と持続した関係を構築する条件等についてお窺いします。



問9 その他、本事業や地域振興・地域再生に関してご意見・ご感想等があれば、ご自由にご記入下さい。

--

貴市区町村名		部署名	
ご記入者氏名			
ご連絡先 (電話・メール)			

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

---

地域再生を担う人づくり支援調査業務  
報告書

平成 23 年 3 月

国土交通省 都市・地域整備局 地方振興課

---

調査・研究 (株) 価値総合研究所  
東京都港区三田 3-4-10 電話 : 03-5441-4800

---